

研究・調査報告書

報告書番号	担当
77	独立行政法人酒類総合研究所
題名（原題／訳）	
Dietary folate intake and incidence of ovarian cancer: the Swedish Mammography Cohort. 日常的な葉酸摂取と卵巣ガンの発症、スウェーデンのマンモグラフィーコホート研究	
執筆者	
Larsson SC, Giovannucci E, Wolk A.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
J Natl Cancer Inst. 2004 Mar 3;96(5):396-402.	
キーワード	
卵巣ガン、アルコール、葉酸	
要 旨	
<p>水溶性ビタミン B 葉酸の適度な摂取は乳ガンや結腸直腸ガンと関連があり、特に飲酒者では強く関連していることが多数報告されている。しかし卵巣ガンのリスクと葉酸の摂取量との関連性を示す疫学的なデータはほとんどない。本研究では 1987-1990 年で 61084 人の女性（34-76 歳、ガンにかかっていない、食事は質問票により調査）を用いて、日常的な葉酸の摂取と上皮卵巣ガン、マンモグラフィーコホートからのデータを分析することによるその種類の関連を検討した。その結果、対象被験者の中で 2003 年 6 月 30 日までに 266 の浸潤性のガンが発見された。結果は Cox 比例ハザードモデルを用いて 95%信頼区間で卵巣ガンの多変数関連リスク (Rrs) を評価した。すべての統計処理は両側検定で行った。その結果、日常的な葉酸の摂取は全体的な上皮卵巣ガンリスクと弱い逆相関の関連が明らかになった、1 週間に 20 g 以上のアルコールを摂取する女性の間では日常的な葉酸の摂取と全体的な上皮卵巣ガンリスクと明かな逆相関が観察された。しかし 1 週間に 20 g 以下のアルコール摂取者の間では逆相関の関連性は見られなかった。1 週間に 20 g 以上のアルコールを摂取する女性の間で葉酸摂取下位 3/4 と上位 1/4 とにおける卵巣ガンの絶対リスクはそれぞれ、10 万人中 8 人、10 万人中 26 人であった。日常的な葉酸の摂取と卵巣ガンのリスクの間の関連性は上皮卵細胞ガンの種類との関連性は見られなかった。</p> <p>以上の結果から日常的な葉酸の摂取は卵巣ガンリスクを減少させる作用があり、これは特にアルコールを摂取する女性の間で顕著であることが明かとなった。</p>	